

益城町復興大使任命式

GAMADASHIMON

益城の
がまだしもん!

— vol.23 —

こまつののぞみ
小松野希海さん
(辻団地)



愛町心あふれるミュージカル俳優

劇団四季で活動後 熊本で劇団を結成

5月10日、町復興大使に任命されたミュージカル俳優の小松野希海さん。幼少期から歌や踊りが好きで、益城中央小3年生の時から友達と一緒に作詞・作曲・振り付けをし、休み時間に教室のベランダで上演していたといいます。「中学・高校時代、吹奏楽部の演奏で舞台上に立った時、舞台上立つのが好きだと気付きました。吹奏楽部なのにシナリオ書いて、お芝居をしたりしているうちに舞台を作るのが好きになり、高校2年生の時、劇団に入りました」と振り返る小松野さんは、熊本大学を卒業後に上京。半年後に行われた劇団四季のオーディションに見事合格し、ミュージカル俳優になりました。

平成26年に熊本へ戻り、劇団「転回社」を結成。熊本のアーティストたちと作る「熊本産ミュージカル」を、多くの人に喜んでもらえるような企画・プロデュースを行う他、町でのPR動画「意外といいじゃん益城町」や、テレビ、ラジオの出演など活動の場を広げ、「のんちゃん」の愛称で親しまれています。

大好きな町の魅力を 発信したい

各方面で「益城町出身」とアピールするほど、愛町心に満ちた小松野さん。「野菜がおいしく、時間の流れが豊かで暮らしやすい町です。穏やかな中に、前進している町ならではのエネルギーを感じます」と町の魅力を語り、「昔から変わらずにある町の魅力、地震によってカタチはなくなってしまうけれど、忘れたくない町の魅力、これから新たに加わっていく町の魅力を、復興大使として発信していきたい」と意気込みます。

最後に、ミュージカル俳優としての目標も語ってくれました。「機会があれば町内でも舞台を上演し、町の人たちに心動かす体験をしてもらえればと思っています」。

下段写真左から「Musical CAPPAL!」/「Musical Kaguya Hime?」/「ミュージカルロミオとおてもやん」(全て本人提供)

